

学校教育目標	『挑戦 夢 ふれあい まちにひかる上小キッズ』				
	【知】自分のよさや可能性に気づき、自らの意思で行動できる子を育てます。(夢・挑戦) 【徳】感動する心を大切に、自分の将来に夢をもち、より豊かに生きようとする子を育てます。(夢) 【体】自分や人の生命を大切に、健康でたくましい体をつくらうとする子を育てます。(挑戦) 【公】地域社会の中で自分と人とのかかわりを見つめ、共に生きようとする子を育てます。(ふれあい) 【開】国際人として、多様性を理解し、行動できる子を育てます。(ふれあい・挑戦)				
学校概要	創立 56 周年	学校長 村上 雅基	副校長 中村 久	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 397 人 主な関係校: 上飯田中学校 飯田北いちょう小学校 (中和中学校)				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自他ともに多様性を認め、発信する力 ・地域に生きようとする力 ・思いや考えを伝え合う力	上飯田中学校 上飯田小学校 飯田北いちょう 小学校	基礎・基本を大切に、地域とともに多様性を認める子 ・ブロック内授業交流会開催による小中一貫カリキュラムの推進をする。 ・児童生徒交流会を通じた多文化の理解と発信をする。 ・泉ブロック人権教育推進地域校での講演会による地域理解と外国籍等児童生徒の理解を図る。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎・基本の定着や個に応じた指導を充実させ、できる喜び、わかる楽しさを味わい、学力の向上を図ります。 ◆子ども一人ひとりが自分らしく生き生きと生活できる学級・学校となるよう、居場所づくり・仲間づくりを進めます。 ◆地域の人に学び、働くことへの見方を深める出会いや体験を推進し、子どもの夢育てを支援します。 ◆心と体の健康づくりに関心をもち、望ましい生活習慣を身につける取組を進めます。 ◆気持ちのそった教職員集団による学校運営組織を確立します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①令和4年度に続き「自分の考えを表現し、自信をもって集団の中で活動する子の育成～対話による集団づくりをめざして～」をテーマに特別活動を中心とした授業研究を伴う研究を行い、授業力の向上を図る。 ②児童の基礎・基本の定着を図るための1人1台のタブレット端末の活用方法を探る。
担当 教務部・重点研推進委員会	
徳 豊かな心	①年間を通して多文化共生を含めた児童の人権感覚を養うとともに、各学年の発達段階に応じ、人権週間の取組を充実させる。 ②令和4年度の反省をもとに、各学年の音楽集会としての上飯田ハーモニーの充実を図り、音楽を愛する心や豊かな心を育む。
担当 道徳部・重点研推進委員会	
体 健やかな体	①秋開催に変更した運動会の計画立案をしっかりと行うとともに、例年の短なわとび大会などの活動を実施し、体力向上の取組を進める。 ②学年ごとに昼休みの校庭開放の時間を増やし、中休みの遊びを充実させて、児童の目標に合わせた体力づくり推進する。
担当 体育・特活部	
公開 人権・福祉・国際教育	①児童一人ひとりの人権尊重のため、配慮の必要な児童について共通理解を図り、チームでの支援を進める。 ②助け合い、協力し合う学級集団づくりを推進するために、横浜プログラムを実践する。 ③個に応じた教育として、国際教室、特別支援教室、放課後教室等の実施・充実を図る。
担当 人権・福祉・国際教育部	
いじめへの対応	①横浜プログラムの研修をと取り入れ、自尊感情を育む教育活動を推進する。 ②普段からいじめを許さない・見過ごさない雰囲気作りを徹底すると共に、組織的に対応に当たる。 ③職員会議、打合せ等の時間を活用して、児童理解研修を深め、全職員でいじめの未然防止に努める。
担当 児童指導特別支援委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①主幹教諭を中心にした部会運営を行い、情報共有・共通理解を図り、風通しの良い職場環境作りに努める。 ②慣例や慣習に捉われることなく、会議や組織の在り方を見直し、働き方改革に努める。 ③メンターチームを活性化させ、授業研究や実践提案を通して教師力の向上に務める。
担当 教務部	
児童生徒指導	①職員会議・打合せ等で児童指導に関する情報を教職員全体で共有し、共通理解のもと、支援・指導に当たる。 ②児童支援専任を中心に、SC、SSWとも連携し、児童を取り巻く環境を含め、支援・指導に当たれるようにする。 ③児童相談所や区役所等の関係諸機関と連絡を密にし、個を取り巻く環境の連携を深める。
担当 児童指導特別支援委員会	
キャリア教育	①状況に応じた形で、外部講師等、専門家を講師として招いたり、出前授業を計画したりして、本物に触れる学習活動を積極的に取り入れる。 ②状況に応じた形で、できる限り体験活動を充実させ、遠足や宿泊等についても系統性を考えて積極的に取り入れるようにする。
担当 教務部・重点研推進委員会	
地域連携	①地域コーディネーターを活用して教育支援のサポーターを募り、地域人材の積極的な活用を図る。 ②学援隊、防犯パトロールと協力して児童の安全管理に努める。 ③令和5年度設置の「上飯田中学校ブロック学校運営協議会」との連携を図り、上飯田の地域として児童生徒の健全育成を図れるようにする。
担当 渉外	
国際・大学連携	①自分や親がつながる国の母語・母文化を学ぶことを通して、親子間の言語コミュニケーションを図るとともに、自尊感情を高め、アイデンティティの高揚を図る。 ②母語・母文化の学びの推進に当たっては、関係諸機関や大学と連携すると共に、学生ボランティア等の積極的な活用を行う。
担当 渉外	